

会員数	94,358	(前月比) -	9
手配り	27,129	(前月比) -	308
郵送	9,366	(前月比) +	118
会員世帯数	41,319 (4/30現在) [前月比 4減]		
協同基金到達額	2,350,859,000円 (4/30現在) [前月比 27,712,000減]		
協同基金出資者数	23,137名 (4/30現在)		



発行
健康友の会 みみはら
民医連
本部事務局組織部
機関紙編集委員会
〒590-0821
堺市堺区大仙西町6丁184-2
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860
1部30円



2コースに分かれ
平和パレードへ

5月3日は憲法記念日です。太鼓サークル「土魂鼓」の力強い太鼓の演奏に力をもたせて、扇町公園に3500人がかけつけ、おおさか総がかり集会がスタートしました。

主催者からの挨拶の後、長崎大学核兵器廃絶研究センター准教授の中村桂子さんから「被爆80年、核のタブーの原点に立ち返る」と題したメインスピーチがありました。中村さんは、ヒロシマ・ナガサキのことを知らない子どもたちが増え、核兵器使用に関して

も、「小規模でピンポイントの使用なら許されるのでは」と言う人がいるとも言っておられました。私にとってはカルチャーショックです。そして「被爆国として、平和憲法を持つ国として、核兵器廃絶こそが人類を救う道だ」という強い信念で対話をすすめましょう」とよびかけられました。

今回集会に参加しての想いは「これから、ずっと戦後が続きますように」というものです。私は憲法第9条が一番好きです！
(鞍田康子)

輝け憲法！ 平和といつちと人権を！

5・3
おおさか
総がかり集会

5月3日
扇町公園



約3500人参加



メインスピーチ
長崎大学核兵器廃絶研究センターRECNE准教授の中村桂子さん

熱中症に注意！



暑い季節が近づいてきました。年齢とともに、暑さや喉の渇きに気づきにくくなり、知らないうちに「熱中症」になる危険が高まります。熱中症は重くなると命に関わることもありますので、日頃から予防を心がけましょう。

まず大切なのは「こまめな水分補給」です。喉が渇いていなくても、少しずつ水やお茶を飲みましょう。汗

「ふらつき」「頭痛」「だるさ」などの症状が出たときは、すぐに涼しい場所で休み、水分をとりましょう。体調に異変を感じたら、遠慮なくご家族やご近所の方に声をかけてください。

地域みんなで声をかけ合い、支え合いながら、この夏も元気に乗り切りましょう。
(耳原総合病院 看護師 平井美香)

核兵器のない平和で公正な世界を

原水爆禁止 国民平和大行進 2025

核兵器のない世界へ
一歩でも二歩でも一緒に歩きましょう

●幹線コース

7月3日(木) 和泉市役所(8:40) → 浜寺公園(14:00) → 堺市役所(17:00)

●網の目コース(泉北ニュータウンコース)

7月5日(土) 大蓮公園(9:40) → 〈ニュータウン内行進〉 → 泉ヶ丘駅前交番(11:30)

聴診器

この10年、大阪の市街地でツピー、ツピーと鳴くシジュウカラや、長い尾羽を上下しながら地面をちよこちよこ歩くセグロセキレイ、また建物のてっぺんあたりで歌うような綺麗な声でさえずるイワヒヨドリが増えている。以前は里山でよく見た鳥たちだが、街中に生活の場を見つけているようだ。一方、身近であったツバメやスズメがめっきり少なくなったと感じるひとは多いのではないだろうか。

▼昨年10月、市民と研究者で20年行なってきた身近な生き物の生息調査結果(モニタリングサイト1000)が発表され、スズメは6割へ減っており、これは絶滅危惧に匹敵する速さらしい▼原因には水田草地の減少、隙間のない住宅では巣が作れないこと、異常高温が挙げられた。ヒトにとって快適な環境を求めたことにより、他の様々な生き物たちの生活圏が脅かされていることが今回の結果でも指摘されているが、人間にとっても生きにくい状況と読みかえていいのではないか。今年も猛暑がくるが、この異常な環境に耐えきれない多くの生き物がいることに想いを馳せてほしい▼モニタリングサイト1000の結果はウェブで簡単にみられる。市民も調査に参加できるのは是非覗いてほしい。
(緒方浩美)